

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 2月 24日

事業所名 就労準備型療育シエロ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		室内だけでなく天井も高く設計し、様々な活動ができるよう努めています	・年齢別に合わせた活動場所の確保
	2	職員の配置数は適切である	○		基準人員より2名以上多く配置しています	・保護者向けに日々の職員配置がわかるように努めます
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		・スケジュールボードを用いています ・フラットな環境で段差が少ないです	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		・定期的に業務担当を変更しながら、改善を繰り返しています	・業務の可視化を図り、ケアレスミスを防ぎます
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・アンケート結果を職員に周知し、よりよい支援になるよう業務改善を図っています	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・自己評価結果を配布し、HPにも掲載予定です	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	・第三者委員会設置を検討中です	
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・月1回程度社内研修を行っています ・社外研修も定期的に参加しています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・6か月に1度はモニタリングを含めて、現在の困りごとを聴いています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・アセスメントシートを作成しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・チーム全員にて、毎月の活動を考案しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・児童一人ずつの状況に合わせて、活動内容を定めています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・長期休暇時には、公共交通機関の利用の仕方など、体験を主に活動を設定しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・個別活動では、言語リハビリや感覚統合などの技術面を重視し、集団療育ではソーシャルスキルや情緒面のケアを重視しています。	・年齢別に合わせた活動を取り入れていきます
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・朝礼時に内容や担当の確認をしています	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・定期的にミーティングをし、情報共有をしています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・一人ずつの日々の支援記録をつけています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・6か月に1度、見直しています		

19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○	主に地域での体験、創作活動、保護者支援を中心に活動を決めています
----	---------------------------------	---	----------------------------------

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・管理者が出席しています	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		・定期的に情報共有をし、必要があれば情報提供をしています	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		・必要があれば共有会議を開催しています	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		・現段階では開所歴が浅いため、実績はないが必要書類は整備しています	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		・現在コロナの影響もあり、延期しています。	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○		・定期的に行政での会議や研修に参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・連絡帳や送迎時に情報共有しています。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		・希望があれば、個別面談やペアレント・トレーニングを行っています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に説明しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・希望があれば、個別面談やペアレント・トレーニングを行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナの影響もあり、開催検討中
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・相談窓口を設置しています	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・月案にてお知らせしています	
	35	個人情報に十分注意している	○		・個人情報取り扱いマニュアルあり	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・連絡帳の活用 ・絵カードの活用	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・作品販売会を行い、自治体の回覧板にチラシを入れて周知しています	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		・策定し、掲示しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・定期的に訓練を行っています	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・年に2回程度、研修しています	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・事故防止研修をしています	